

# 地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)の概要について

稲美町生活環境課

# 計画策定に至る背景

## 国際的な動向

- ◆ 世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて**2°C**より十分低く保つとともに、**1.5°C**に抑える努力を追及すること(2015、パリ協定)
- ◆ 世界の二酸化炭素排出量を2030年までに2010年比で**約45%**削減し、2050年頃には**正味ゼロ**とすることが必要(2018、IPCC報告書)

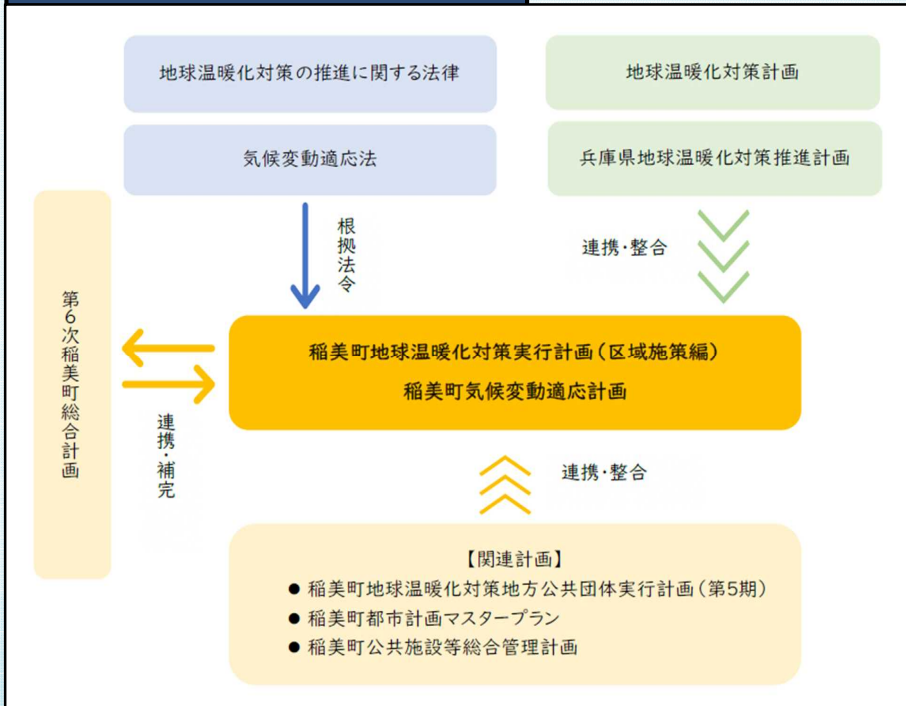


## 国内の動向

- ◆ 2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする  
= **カーボンニュートラル宣言** (2020、首相所信表明)
- ➡ 2050年までに稲美町全域の温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする  
**ゼロカーボンシティ宣言** (2023、町長施政方針)

# 計画の基本的事項

## 計画の位置づけ



## 計画期間

6年間  
(2025年度～2030年度)

## 対象地域

稲美町全域

## 対象とする 温室効果ガス

二酸化炭素

## 対象とする温室効果ガス排出部門

産業部門 (製造業・建設業・鉱業・農林水産業)

業務その他部門

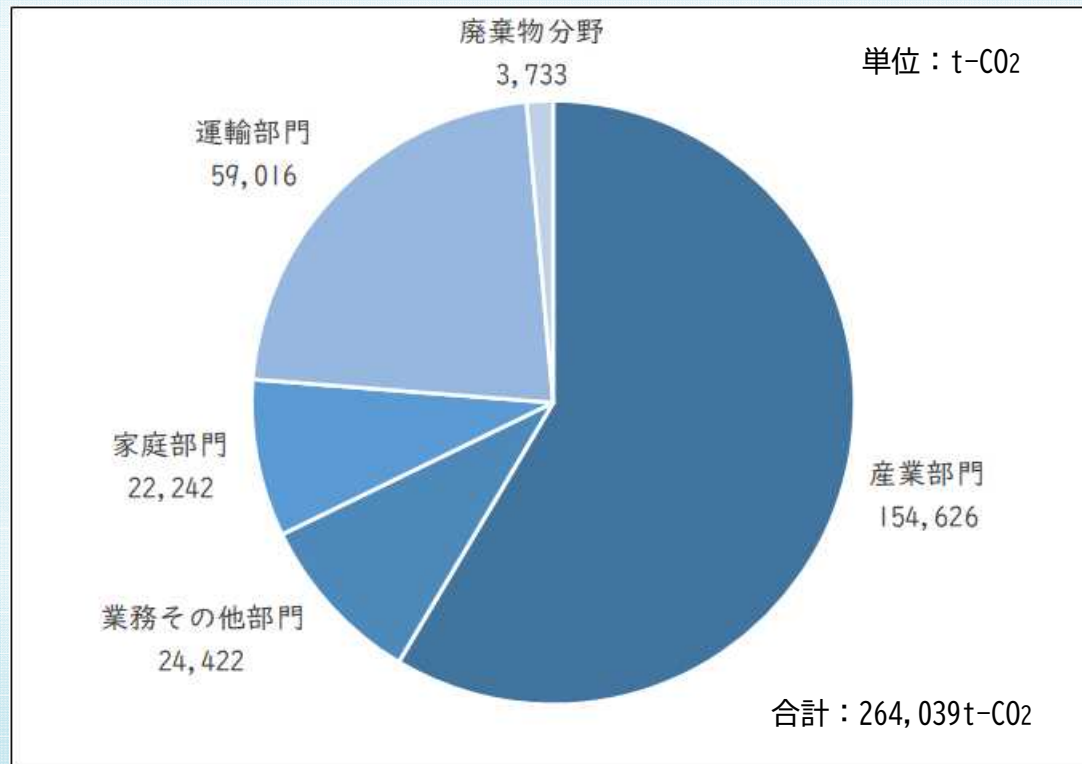
家庭部門

運輸部門 (自動車旅客・自動車貨物)

廃棄物分野 (一般廃棄物の焼却)

# 二酸化炭素排出量の現状と将来推計

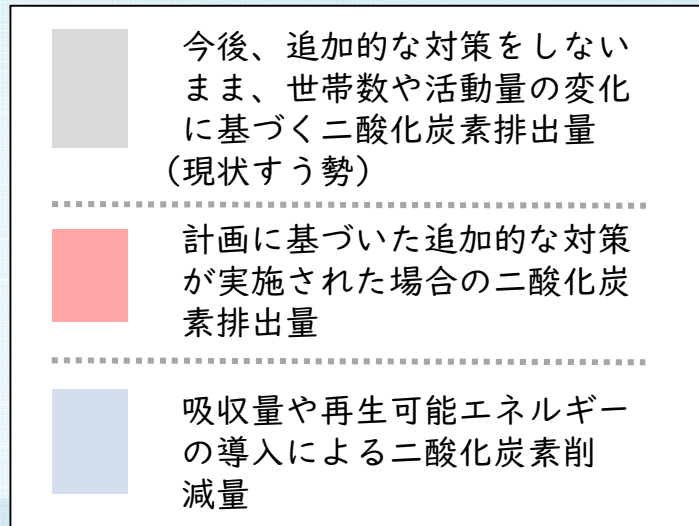
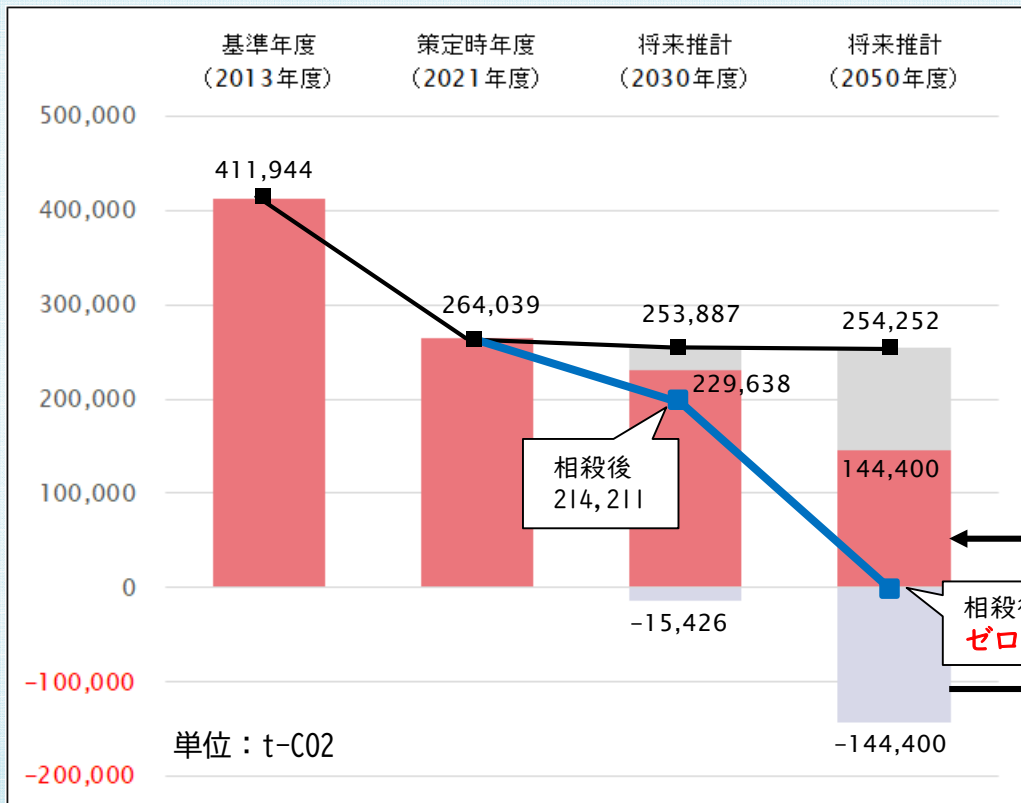
## 計画策定時(令和3(2021)年度)の部門別排出量



### 大きな特徴

町域全体の排出量の  
約 **7** 割が産業部門

# 二酸化炭素排出量の現状と将来推計



削減量と排出量を相殺し、  
実質排出ゼロとする

**カーボンニュートラルの実現**

# 将来像と計画の目標

将来像

ゼロカーボン みんなでつなごう 環境にやさしいまち いなみ

## 2030年度目標(中期目標)

- 二酸化炭素排出量を  
2013年度比で**48%**削減
- 再生可能エネルギーを  
**48,233MWh/年**導入

## 2050年度目標(長期目標)

- 二酸化炭素排出量**実質ゼロ**
- 再生可能エネルギーを  
**196,770MWh/年**導入

➤ 地域課題の同時解決

➤ 稲美町の基本理念(第6次稲美町総合計画)

「ともにつくる 未来へつなぐ 稲美町」の実現

# 目標達成に向けた施策

将来像

ゼロカーボン みんなでつなごう 環境にやさしいまち いなみ

基本方針

省エネルギー  
対策の推進

再生可能エネルギーの普及拡大

総合的な地球温暖化対策

具体的施策

暮らしにおける省エネルギー対策

住宅の省エネ促進・省エネ機器の導入促進・エネルギー消費量の見える化の促進・脱炭素型ライフスタイルへの移行促進

事業活動における省エネルギー対策

省エネ設備の導入促進・建築物の省エネ促進・エネルギー消費量の見える化の促進（再掲）・スマート農業の推進・脱炭素経営への移行促進

地域における省エネルギー対策

公共施設の省エネ化推進・次世代自動車の導入促進・公共交通等の利用促進

# 目標達成に向けた施策

将来像

ゼロカーボン みんなでつなごう 環境にやさしいまち いなみ

基本方針

省エネルギー対策の推進

具体的施策

再生可能エネルギー  
の普及拡大

公共施設等への率先的な再生可能エネルギーの導入

太陽光発電設備等の導入拡大・ごみ発電によるエネルギーの地産地消・再生可能エネルギー由来電力の導入

町内への再生可能エネルギー導入・活用推進

太陽光発電、蓄電池、太陽熱設備の導入促進・再生可能エネルギー由来電力への切り替え促進

総合的な地球温暖化対策

# 目標達成に向けた施策

将来像

ゼロカーボン みんなでつなごう 環境にやさしいまち いなみ

基本方針

省エネルギー対策の推進

再生可能エネルギーの普及拡大

総合的な  
地球温暖化対策

具体的施策

吸収源対策

緑化の推進・木材の利用促進・農地における土壌吸収源対策の促進

ごみの減量化・資源化の促進

ごみの削減・食品ロス削減の推進・資源の有効活用促進・環境配慮型商品の普及促進

基盤的施策の推進

環境セミナーやワークショップの開催・環境学習機会の提供支援・優良事業者表彰制度の導入検討・他自治体との都市間連携の検討

# 施策に対する評価指標

Ⅰ 省エネルギー対策の推進	
1 うちエコ診断の利用件数	60件(2025～2030年度合計)
2 断熱改修や省エネ機器等の導入に向けた情報発信の回数	15回(2025～2030年度合計)
3 「電気自動車等導入支援補助金」の補助件数	60台(2025～2030年度合計)
Ⅱ 再生可能エネルギーの普及拡大	
1 公共施設で使用する再生可能エネルギー由来電力とごみ発電由来電力	30%
2 「住宅用太陽光発電システム等設置費補助金」の補助件数	400件(2025～2030年度合計)
3 太陽光発電設備の導入に向けた情報発信の回数	15回(2025～2030年度合計)
Ⅲ 総合的な地球温暖化対策	
1 一人当たりの1日のごみ排出量	750g
2 環境教育実施回数	6回(2025～2030年度合計)
3 住民向け環境セミナー開催回数	6回(2025～2030年度合計)

# 計画の推進体制

## 稲美町ゼロカーボン推進協議会

調査結果報告  
計画案の提示



連携・協働



提言・意見・要望

### 庁内体制

#### 稲美町ゼロカーボン推進本部

報告



指示・提案

#### 稲美町ゼロカーボン推進部会



連携・  
協働

### ステークホルダー

地元企業や  
地元の環境活動団体など

要望・協力



普及啓発・支援

### 住民・事業者

# 計画の進捗管理



## Check(点検)の内容

ゼロカーボン推進協議会  
(本会)



ゼロカーボン推進部会  
(2月ごろ)



ゼロカーボン推進本部  
(3月ごろ)



町ホームページに公開  
(3月下旬)